

子育てを誰もが  
応援できる  
仕組みづくりには  
まだまだいろいろな  
可能性があるはず。



「こまちカフェ」の目の前には、「子育て支援つき自動販売機」。飲料の代金の数%が、戸塚区の「ウエルカムベビーボックス」の送料等に使用される。地元飲料メーカーの協力で設置。

カフェ内は、木のしつらえで、日線が低い状態で整えているので、あかちゃんたちを安心してあそばせておけます。おもちゃも木のものや布製で、より安全性を高めて。

にも、街中が子どもの誕生を歓迎する社会にしたい。そのために、商店会や地元企業、行政を巻き込んで『ウエルカムベビープロジェクト』という取り組みもはじめました。戸塚区で出産したご家族に、育児に役立つ品が入った『ウエルカムベビーボックス』を届けます。品物の選考やニーズ調査に関わるプロジェクトメンバーが、育児世代の思いや苦労を知り、見る目が変わる。そんなうれしい効果もあるんです」

そのほか、「こまちカフェ」では「認知症カフェ」や多世代のおしゃべりの会も開催しています。

「お年寄りから、バギーのママたちが駅のエレベーターを占拠しているといった不満の声を聞き、これはまづいと思っただんです。高齢者と育児世代を分断させず、交差させることでお互いが住みやすい町にしなさいやと。また、育児と介護の両方を抱える『ダブルケア』のひとも増えているので、どちらも話題にできる場が必要だと考えて」

入り口は、あかちゃんのがびのび



カフェと事務所が入るのは、雑居ビルの2階。戸塚駅から歩いて7分くらいの場所ながら、静かな環境。

あそべる「こまちカフェ」。中に入ると、多様なニーズに応えてくれる用意があり、思わぬ可能性が開ける「こまちがらす」が待っています。

「ここに来た方には、お客さんにとどまらず、何かをはじめめるきっかけの場にしてもらいたいと願っています。復職を目指してここで経験を積んでいかれる方もいるんですよ」

育児をきっかけに家にこもるのではなく、子育てが新しい社会との接点となっていく。そんな未来が開ける居場所が、ここ、「こまちカフェ」です。



「離乳食」と「子育て支援つき自動販売機」ですが、この場所が「子育て支援つき自動販売機」をつかきよく友だち



「育児」の本の読み聞かしています

方面に活動の場を広げています。「子育てを『孤育て』にしないため